

平成 29 年度
事業報告書

社会福祉法人 やながせ福祉会

通 所 介 護

大津みやび野デイサービスセンター

平成 29 年度 事業計画

目 標	チェックシートを活用し、心身の状態やニーズを把握し、それに 応じた機能訓練を実施する。
理 由	誰もが、自宅での安心した生活を希望されているなかで、身体機能 の維持、向上が重要になるが、機能訓練やレクリエーション以外 にも基本的な日常生活動作の自立を促すことで身体を動かす機会を 提供していく必要がある。また、機能訓練ではニーズに沿ったプロ グラムを実施する必要があるため。
具体的対応策	<ol style="list-style-type: none"> 1. 興味・関心チェックシートの活用や利用者の身体機能、在宅環 境の確認を行い、本人の身体状態や在宅生活のニーズに合わせ、 「階段昇降運動」「ゴムチューブ運動」「負荷運動」などを実施 する。 2. 現存機能を活かし、自立を促していくことで、在宅生活を維持 できる支援を実施する。 3. 本人の意欲が低下しないように歩行訓練を兼ねた外出支援を定 期的に計画する。 4. 地域との交流も兼ね、道の駅などで買い物を予定することで社 会的参加も実施する。

平成 29 年度 事業報告

事 業 報 告	機能訓練において様々なプログラムを各週で実施し、内容の充実 を図ることができた。チェックシートに関しては各自の希望等が記 入されていたが内容の把握や職員への周知が不十分であった。ただ、 個々に聞き取りを行い、残存機能を活かした歩行訓練や階段昇降運 動などを実施し、在宅生活の維持に繋げることができた。個々の訓 練に関しては、今後も聞き取りを続け実施者を増やしていくことが 課題となる。外出支援は定期的に実施することができ、利用者から も良い評価をいただくことができた。
事業運営総括	年間稼働率は平成 28 年度の 81.2%から 83.8%と 2.6%上昇してい るが、インフルエンザが流行した 2 月は利用を休まれる方が予想以 上に多くなってしまった。利用者状況としては、心身機能を維持さ れている方が多いなか、数名の方に関しては認知症の進行や身体状 態の悪化から介護度が上がっている方もおられるため、今後、重度 者への対応法についても職員で共有していく必要がある。

要介護度の状況 《平均要介護度 介護》

平成30年3月31日 現在

	人数	割合
事業	7	8%
要支援1	7	8%
要支援2	20	23%
要介護1	28	32%
要介護2	12	14%
要介護3	8	9%
要介護4	4	5%
要介護5	1	1%
合計	87	100%

月間利用実績（人数）

平成29年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
事業	0	0	0	3	4	5	5	6	6	6	6	7	48
要支援1	17	18	17	17	14	13	12	10	8	8	7	7	148
要支援2	27	25	23	20	22	22	22	19	21	22	19	20	262
要介護1	29	30	31	28	28	28	30	32	34	32	32	28	362
要介護2	9	10	10	10	10	11	11	10	10	9	10	12	122
要介護3	8	8	8	7	8	7	6	6	8	8	7	8	89
要介護4	4	3	3	4	4	6	5	5	4	4	5	4	51
要介護5	3	2	2	2	1	1	2	2	2	2	1	1	21
合計	97	96	94	91	91	93	93	90	93	91	87	87	1,103

月間利用実績（延べ人数） 《稼働率 定員30人時:83.8%》

平成29年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
事業	0	0	0	16	21	29	28	34	32	34	33	44	271
要支援1	67	78	68	71	48	49	46	39	32	28	28	28	582
要支援2	191	177	170	151	149	166	160	145	148	150	124	154	1,885
要介護1	229	238	250	243	244	243	256	266	256	255	254	247	2,981
要介護2	59	66	70	65	76	70	74	69	59	59	55	84	806
要介護3	43	44	42	39	47	39	31	32	48	46	44	69	524
要介護4	42	42	41	44	38	50	48	50	43	37	40	44	519
要介護5	20	12	16	13	9	9	12	16	16	10	6	9	148
合計	651	657	657	642	632	655	655	651	634	619	584	679	7,716

開所日数

平成29年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
日数	25	27	26	26	26	26	26	26	24	24	24	27	307

曜日別延べ利用実績

平成29年度

	月	火	水	木	金	土	合計
人数	1,297	1,295	1,274	1,331	1,281	1,238	7,716
割合	17%	17%	17%	17%	17%	16%	100%

1週当り平均利用人員

平成29年度

	月	火	水	木	金	土	合計	1日平均
人数	24.9	24.9	24.5	25.1	24.6	23.3	147.30	24.55
割合	17%	17%	17%	17%	17%	16%	100%	—

回数別利用人員

平成30年3月31日現在

	1回	2回	3回	4回	5回	6回	合計
人数	28	34	15	8	0	2	87
割合	32%	39%	17%	9%	0%	2%	100%

保険者の状況

平成30年3月31日現在

保険者	人数
姫路市	84
太子町	3
合計	87

年齢別構成状況

平成30年3月31日現在

	65歳以下	65歳以上	70歳以上	75歳以上	80歳以上	85歳以上	90歳以上	合計
		から 70歳未満	から 75歳未満	から 80歳未満	から 85歳未満	から 90歳未満		
男	0	0	3	5	8	5	1	22
女	2	0	4	4	20	24	11	65
全体	2	0	7	9	28	29	12	87

日常生活状況

区 分		実数	割合
歩 行	自 立 歩 行	66	75.9%
	杖等の歩行補助器使用	14	16.1%
	車 椅 子 使 用	7	8.0%
食 事	自 分 で 可 能	85	97.7%
	一 部 介 助	2	2.3%
	全 部 介 助	0	0.0%
入 浴	自 分 で 可 能	69	53.2%
	一 部 介 助	14	16.1%
	全 部 介 助	4	5.5%
着 替	自 分 で 可 能	69	58.7%
	一 部 介 助	15	35.8%
	全 部 介 助	4	5.5%

平成30年3月31日現在

区 分		実数	割合
排 泄	トイ レ	82	94.3%
	自分で可能 介 助	5	5.7%
	内おむつ使用	0	0.0%
認 知 症 老 人		15	17.2%

対 象 人 数	87
---------	----

行事報告

	行 事	趣味・生きがい活動	レクリエーション及び体操
4月	桜見学	脳トレ（計算、漢字問題） カレンダー作り	おもり負荷体操 平行棒運動 階段昇降運動
5月	世代間交流	手芸 塗り絵（カレンダー作り）	ゴムチューブ運動 棒体操 ボール体操
6月	外出支援（あじさい観賞）	手芸 脳トレ（間違い探し）	棒体操 階段昇降運動 ゴムチューブ体操
7月	世代間交流	手芸 脳トレ（計算、漢字問題）	階段昇降運動 下肢運動 ボール体操
8月	夏祭り	塗り絵（カレンダー作り） 脳トレ（計算、漢字問題）	ゴムチューブ体操 上肢運動 棒体操
9月	世代間交流	間違い探し 脳トレ（計算、漢字問題）	ゴムチューブ体操 階段昇降運動 平行棒運動
10月	外出支援（コスモス観賞）	手芸 脳トレ（虫食い算、計算）	階段昇降運動 歩行訓練 ボール体操
11月	外出支援（紅葉観賞） 交流会	手芸（裁縫） 脳トレ（計算、漢字問題）	反復体操 平行棒運動 棒体操
12月	クリスマス会	手芸 （プレゼント、餅花作り）	階段昇降運動 棒体操 平行棒体操
1月	初詣	手芸 塗り絵（カレンダー作り）	ボール体操 階段昇降運動 ゴムチューブ体操
2月	節分豆まき	手芸 脳トレ（計算、漢字問題）	棒体操 平行棒運動 階段昇降運動
3月	外出支援（梅、菜の花見学）	手芸 脳トレ（計算、漢字問題）	ボール体操 階段昇降運動 ゴムチューブ体操

	行 事	趣味・生きがい活動	レクリエーション及び体操
定期的	お誕生会 ボランティアとの交流会 （演奏会や貼り絵作成など）	書道、ちぎり絵、手芸	カラオケ、ボーリング、輪 投げ、物送りゲーム、カー リングゲーム、連想ゲーム

職員間の内部研修の実施状況

研修名	研修内容	研修内容	参加職種	参加人数	期間	講師(職・氏名)
基本理念・接遇研修	法人理念・サービスの心得・接遇・コンプライアンスについて		全常勤	39名	4月1日	施設長(細野欣之)
人権研修	人権意識・ノーモラライゼーションについて		介護職員 看護職員	59名	4月12日～4月29日 (4回)	介護支援専門員 (河崎文武)
高齢者の疾病研修	高齢者に多い疾病・服薬の留意点について		全職種	57名	5月10日～5月27日 (4回)	看護師
感染研修	食中毒の原因と対策について		全職種	25名	6月17日～6月28日 (全4回)	管理栄養士(和田奈保美)
健康診断総評	健康診断総評・ストレスマネジメントについて		全職種	21名	7月27日	産業医(久保精一郎)
排泄ケア研修	排便コントロールについて		全職員	49名	7月10日～7月29日 (4回)	排泄委員会 ユニチャーム研修担当者
褥瘡研修	褥瘡の理解について		介護職員 看護職員	44名	8月9日～8月30日 (4回)	褥瘡委員会(看護師)
入浴介助研修	全身清拭について		全職員	29名	9月20日～9月30日 (4回)	入浴委員会
リスクマネジメント研修	リスクマネジメントについて		全職員	59名	10月11日～10月28日 (4回)	ユニットリーダー (各ユニットリーダー)
感染症研修	感染症について		全職員	78名	11月8日～11月25日 (4回)	ユニットリーダー (各ユニットリーダー)
終末期ケア研修	終末期ケアについて		介護職員 看護職員	87名	12月13日～12月31日 (4回)	介護支援専門員 (河崎文武)
食事研修	気道内異物除去法について		全職員	38名	1月13日～1月31日 (4回)	食事委員会
介護保険研修	介護保険制度について		全職員	45名	2月17日～2月28日 (4回)	施設長(細野欣之)
リスクマネジメント研修	事故報告件数・対策の視点について		全職員	35名	3月17日～3月28日 (4回)	生活相談員(濱下隆史)

参加人数は併設事業所も含む。

法人研修

研修名	研修内容	参加職種	参加人数	期間	講師(職・氏名)
メンタルヘルス研修	ストレスチェック制度の目的と概略について	全常勤	70名	6月16日	社会保険労務士(福留 寛)
代謝・糖尿病研修	栄養学・代謝と糖尿病について	全常勤	57名	10月25日	大津みやび野デンサービス (管理者・寺尾恵子)

参加人数は併設事業所も含む。

職員の外部研修の受講状況

研 修 名	研 修 内 容	参 加 職 種	参加人員	日 付	期 間	場 所	研 修 結 果 の 報 告 方 法
新任職員研修会	福祉サービスの心構え、スマイルエクササイズについて	介護職員	2名	5月12日	1日間	姫路商工会議所	口頭・復命
兵庫県福祉介護職員合同入職式	合同入職式、新人研修会	生活相談員	1名	6月13日	1日間	兵庫県公館大会議室	口頭・復命
平成29年近畿老人福祉施設研究協議会「和歌山大会」	可能性への挑戦、介護におけるリスクマネジメントについて	介護職員	1名	7月14日	2日間	和歌山県民文化会館	口頭・復命
相談面接技術研修（中級）	非言語的コミュニケーション、かかわり行動について	生活相談員	1名	7月26日	2日間	関西学院西宮上ヶ原キャンパス	口頭・復命
相談面接技術研修（初級）	コミュニケーションの基本について	生活相談員	1名	8月29日	1日間	兵庫県社会福祉研修場	口頭・復命
講習会、展示会 in 神戸	展示会、講演	管理者	1名	10月14日	1日間	神戸国際展示場	口頭・復命
ティ部会「管理者研修会」	ティの利用増につながる、具体的活用について	管理者	1名	1月25日	1日間	兵庫県福祉センター	口頭・復命

避難訓練の実施状況

実施日	訓練種目	訓練内容
5月17日	みやび野合同避難訓練	みやび野エリア事業所合同避難訓練の実施（厨房）
8月31日	日中体制訓練	日中体制による避難訓練、放送、通報機器の使用確認
9月27日	日中体制訓練	日中体制による避難訓練、放送、通報機器の使用確認
11月29日	合同緊急対応訓練	みやび野エリア事業所合同での火災対応設備の確認及び簡易担架の作成法等緊急対応の確認
3月8日	消防署現場確認	消防設備及び避難体制の確認

苦情対応

平成 29 年度は苦情なし

事故対応

発生日	事故内容	事故対策
平成 29 年 4 月 13 日	<p>「転倒事故について」</p> <p>外出支援時に転倒される。その際は看護師が外傷を確認し、歩行可能な状態であったが、後日連絡を行うと立ち上がりや歩行が困難な状態であり、受診する。骨折は確認できなかったが、膝に水が溜まっており医師により処置を受ける。</p>	<p>①歩行状態が不安定な方は、外出時、外出先の足元の状況によっては安全に配慮して車椅子の使用を検討する。</p> <p>②外出支援時には歩行が不安定な方もおられるので、事故予防の対応が出来る人数で外出を予定する。</p>
平成 29 年 5 月 20 日	<p>「送迎時の物損事故について」</p> <p>送迎時、道を間違えUターンを行う際、車を曲り角の家に接触をさせてしまう。すぐにインターホンを押し、謝罪を試みるも不在であったため、後ほど、管理者と事故時の送迎者が再度訪問し謝罪と修理の説明を行う。</p>	<p>①送迎時には必要でない限り、狭い道には入らないようにする。また、方向転換を行う際は交通ルールを守るように徹底する。</p> <p>②事故を起こした際の流れとしてマニュアルの把握を全職員に徹底し、事故発生時には慌てることなく対応していく。</p>
平成 29 年 5 月 31 日	<p>「送迎の誤りについて」</p> <p>提供票の確認が不十分であったため、利用予定でない日に送迎を実施してしまいます。後ほど家族から所在確認の連絡を受ける。その日は病院受診予定のため、家族が迎えに来られ、そのまま受診される。</p>	<p>①提供票の確認は担当者だけで行わず、職員二人で確認する。</p> <p>②突発的な予定変更やキャンセルの情報も連絡ノートを活用し、漏れのないよう全員で把握していく。</p>
平成 29 年 6 月 3 日	<p>「義歯の破損について」</p> <p>日中、義歯を外されていた利用者に対して帰宅前に装着していただくよう支援するも誤って落とし、義歯を破損させてしまう。家族へ連絡し、破損の謝罪と修理することを伝える。</p>	<p>①義歯を持ち運ぶ際は手で持つのではなく、ケースに入れて落とさないよう注意を払う。</p> <p>②義歯は装着していただくことが基本であるが、本人が強く拒否された場合は無理強いせず、しっかりと管理し、返却する。</p>
平成 29 年 10 月 24 日	<p>「衣類の脱色について」</p> <p>入浴時、誤ってハイター液が利用者の靴下と靴に付着してしまい、脱色する。本人と家族へ報告と謝罪を行い、弁償し対応する。</p>	<p>①ハイター液など危険な物については利用者の手の届く所におかず、施設等が可能な場所にて管理する。</p> <p>②その他の物品についても保管方法を見直す。</p>

発生日	事故内容	事故対策
平成 29 年 12 月 11 日	<p>「請求の誤りについて」</p> <p>利用していない日を含んだ誤った請求書を送付してしまい、過分の請求をしていると家族より指摘を受ける。支払い前であったため、正しい請求書を作成し謝罪を行う。</p>	<p>①毎日の利用実績の入力時と再度、月末に実績確認を行う。</p> <p>②請求ミスが発生した際にはすぐに内容を確認し、訂正した請求書を家族へ直接届ける。</p>
平成 30 年 1 月 5 日	<p>「送迎時の接触事故について」</p> <p>送迎時、送迎車のドアを開けた際に利用者宅の塀にぶつけてしまう。すぐに家族に確認していただき、許していただくが、後日、担当者が自宅を訪問し謝罪する。</p>	<p>①送迎車のドアを開ける際、周りに障害物などがいないか乗降前に確認する。</p> <p>②停車する場所は交通ルールに背いた場所でないか、また、近隣の住民に迷惑となっていないか注意する。</p>